

福井県脳外傷友の会
(福井県高次脳機能障害者と家族の会)



第 23 号

2020 年 4 月 15 日発行

福井県脳外傷友の会

「福(笑)井」事務局

第 19 回全国大会 in 香川に参加して

会長 村下 恵美子

今年の全国大会は、讃岐うどんの香川県で開催されました。香川県のマスコットキャラクターもうどん脳といい、交流会にも来てくれていました。頭からうどんが出てくるので参加される方が長く引っ張っていました。

そんなうどん県へ行ってうどんを食べる機会に恵まれず、何と食べずに帰ってきてしまいました(;_) それがとても心残りです…。



さて毎年少しずつ参加者が増え、今回は 17 名の参加でした。交通手段もバス、マイカー、現地で会うなどいくつかに分かれていましたが、18 日の交流会や 19 日の全国大会では一緒でした。支援センターからも 5 名参加があり、とてもにぎやかでした。交流会も 8 人テーブルを 3 つぐらい福井が占領し、おいしいごちそうやビールなどを楽しみました。アトラクションもあり、めずらしい獅子舞などの披露やお楽しみ抽選会もあり、おいしい和菓子が当たりました。

翌日の全国大会も大勢参加されており、県民ホールの席は埋まっていました。学生さんも熱心に聞いておられました。私たちには難しい各省のお話よりも、正直最後の本人・家族の声が一番身近に感じました。感動しながら、また、うなずきながら聞いていました。

3 日目の観光も楽しみのひとつですが、何より福笑井のメンバーとわいわい言いながら、毎年違う県へ行けるのはとても楽しいです。また来年も行こうと、今年の香川が終わったすぐから思っているのは私だけでしょうか・・・？

日本高次脳機能障害友の会 第19回全国大会に参加してきました

R・Y

令和元年10月18日、19日に香川県高松市において「脳外傷友の会」から「日本高次脳機能障害友の会」に名称が変わって初めての全国大会が開催されました。今年は観光会社が車椅子対応のバスを導入したとの事で、足の不自由な夫も乗車させていただきました。初乗りの感想はというと、とても危険だと思いました。理由は、乗務員が機械の操作に不慣れな事。また 車椅子だけを固定して そこに座っている人間のシートベルトが無く、ブレーキの度に車椅子から前に飛び出しそうになる事、等です。ただ、福笑井の皆さんとの香川バス旅は楽しく観光で訪れた栗林公園の美しさには感動しました。また、車窓からの風景として、ソーラーパネルを屋根に載せた家が多く建っていて福井とは気候の違いも感じました。

18日 夜の交流会も家族会や関係者など500人程が集い、懐かしい他県の人との再会など賑やかに時が過ぎていきました。それでも、「全国大会もそろそろマンネリだね」との意見もあり、家族会の高齢化とともに様々な課題が出てくるものだとつくづく思いました。大会の内容については資料を読んでいただくとして…。

来年に迫った福井県での全国大会、こんな小さな県でも開催できるの？と、ふと不安になります。どの県の患者会でも、全国大会開催に際して すったもんだ有る模様です。しかし、それこそワンチームで福井方式の全国大会が開催できれば良いなと思います。



12 月クリスマス会

Y・N

今年も恒例のクリスマス会が12月8日（日）福井県社会福祉センターにて行われました。今回は音楽療法士の前川さんとピアノ講師の栗山さんをお迎えして、クリスマスにちなんだ曲や童謡をみんなで歌ったり、お二人のピアノ演奏を聴いたりして約1時間楽しみました。ピアノ演奏はうっとりする演奏で、しばしその美しい音色に癒や



されました。また、トーンチャイムという楽器をみんなで演奏してクリスマスモード満載のひとときでした。

その後アニマルセラピーでわんちゃんたちとふれあい、これもまた心癒やされるひとときでした。最後にプレゼント交換があり、参加した会員みんなが笑顔で楽しんだ1日となりました。



2月例会 「ピアサポートって何？」

A. A

2月23日（日）福井県社会福祉センター3階視聴覚室において、2月例会が開催されました。今年は異例ともいえる雪が全くない冬と喜んでいましたが、日本中を震撼させる「新型コロナウイルス感染症」が広がりを見せつつあり、漠然とした不安を抱えての例会となりました。

講演に先立ち、剣舞や詩吟のアトラクションがありました。福笑井のHさんも詩吟を披露して下さいました。剣舞の先生は30年のキャリアをお持ちとのこと。皆さんの声量のすごさに圧倒されました。お腹の底から声を出すのは健康にも良いですね。



次に本題であります、富山大学人文学部の伊藤智樹准教授による「ピアサポートとは？」

～語り聞くことを中心に～との演題にて講演がありました。

先生は、自助グループの研究から、アルコール依存症、死別体験、吃音などの方々とも関わってピアサポート研修を行っておられ、ピア相談員の養成にアドバイザーとして参加されているとのことでした。

ピアサポートとは：仲間同士の支え合いの行為。

ピアサポートの基本は：高次脳機能障害では「回復の物語」は当てはまらない。このような混とんとした物語を吐き出せる場を構成すること。ピアサポートを実践していくために：経験の多様性、それぞれの経験、物語を紡いで



いくプロセスに関心を持って伴走していく。講演のあと、先生を交えて、本日参加した皆さんに高次脳機能障害になった病気、事故等のきっかけから今に至るまでの経験や思いを語ってもらいました。私自身13年経った今だから冷静になって話せるようになりましたが、当時は本当に不安でいっぱいでした。この会で悩みを皆さんと共有で

きたことや、交友の場が少なくなった主人にとって家族会の仲間が増えたことなど、とても良かったと思っています。これからも皆さんとの関わりの中で支え合うことが出来ると良いなと感じました。

赤い羽根共同募金 使途選択募金に ご協力の感謝とお礼



会長 村下恵美子

赤い羽根を通して福笑井へ募金をお願いする使途選択募金ですが、今年で4回目となりました。

たくさんの皆様にご協力頂いて、目標を上回ることが出来ました。

深く感謝いたしております。ありがとうございました。

温かいお気持ちや心のこもったメッセージにいつも勇気づけられます。

メッセージの一部です。

- ・少しでも役立てて頂ければ幸いです。
- ・みんなが笑顔で過ごせますことを願っています。
- ・先日はわざわざお手紙ありがとうございます。微力ながら応援させて頂きます
- ・福笑井の活動応援します。
- ・皆様の挑戦し続ける人生を心から応援しています。
- ・ファイト！ などなど

100名を超える皆様に応援頂いていることを思うと胸が熱くなります。

この時期、新型コロナウイルス感染拡大の為にいろいろと影響が出ているにも関わらず、ご寄付して下さいましてありがとうございました。

これからも前を向いて進みたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

赤い羽根使途選択募金にご協力ありがとうございました



(敬称略)

廣瀬 妙子 藪 時夫 大旗 理一郎 林原 勇夫 木曾 秀次
竹内 正信 柴田 邦雄 楠 房治 上道 澄子 福島 稔
田中 義彦 島田 芳文 島田 眞保子 三駄 忠義 市川 康
三谷澤 武男 山崎 高春 古川 友美 まこと福祉会 嘉門 夕華
谷口 由紀子 越田 実千代 佐々木 浩二 野尻 和美 林 勝義
橋本 とよ子 岡田 和代 村下 将規 道下 千恵 松原 洋子
澤井 正子 南部 統美 水元 としみ 村嶋 哲郎 竹内 誠治
(有)マルティ自工 太田木材(株) 第一防災(株) 道下 博和 (株)清水設備
(株)そうごう建装舎 吟舞を愛する会代表加藤千枝子 竹澤 華 秦内装
野村 秀雄 荒井 明美 (株)エプソン加越販社 櫻田 次夫 東野 薫
(株)奥越公益社 中村 正治 マテリアルヘアー 村下 心虹
中島管材鋼機(株) 古川 忠男 大門動物病院 小森商事(株) 豊実精工(株)
松井 孝浩 高畑 富雄 (株)坪内建設 (株)村下建築 村下 恵美子
北岑 武夫 脇本 正則 田中 幸廣 南部 庄栄 中田 雅裕
高松 俊裕 内田 武志 菱田 和代 森廣 あさを 伊藤 智樹
西宮 知界 大野住宅産業 村下 司紗 棟朝 京美 斎藤 嗣夫
(株)野尻重機 佐藤 常子 坂口 久枝 島田 善一 島田 幸夫
柳瀬 悟 坪内 翔二郎 大南建設工業(株) 坪内 瞳 梅崎 弥一郎
前田電気(株) 米田 順一 大野観光自動車(株) 伊藤 有人 山 栄子
山本法律事務所 荒井 健太 山内 廣志 (有)トコハシト 加藤 礼子
(有)マルティ保険企画 多田 久美子 笑いヨガサークル福井平林幸二 辻新 馨
広岡 みゆき 瀬川 和彦 田中 達邦 細井 薫雄 橋本電装
山崎 知代美 平井 清子 平井 敏之 原田 恵子 下出 一雄
山川 雅希代 山川 しげ子 佐々木 泰子 西岡 素子 佃 淳子
山口 みさ子 森国 治士・由美子 村口 多喜子 水林 志保子
本多 学 熊井 茂子 山口 静枝 西 史司 湯浅 和幸

趣味の紹介コーナー

色鉛筆で描いた絵はがき

K・O



1. 初めて描いたチューリップ(心を込めて)



2. 三国の海岸に咲いていたハマナス



3. トレニア



4. ステンドグラス風に描いたクジャク



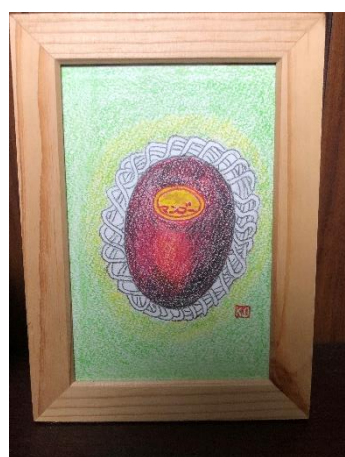
5. 年賀状用の竹人形の犬



6. 春一番に咲いた一輪の梅の花 7.



8. マンゴー



食べるのを我慢して描いた桃(笑)

最近会員になられたH氏の奥様からの日常や思いです。

夫とトマト

夫は二年前、重篤なくも膜下出血を発症したが、高度医療と自らの生命力とで奇跡的に命を取り留めた。

リハビリと訪看サービスを受けながら半年程たったある日、病院待合室で患者会のMさんと偶然一緒になった。私は夫との日々の愚痴をつい言ってしまった。その日も、ご主人のリハビリが終わるのを待っておられたMさんは、私の話にじっと耳を傾け、聞いて下さった。

「人それぞれ色々な苦労があるけど、介護する側の私に出来ることは限られているし、そのために割いている時間は、考えてみると自分が思う程ではないと分かってきた。一方で当の夫が失ったものは計り知れない・・・」というMさんの言葉に私ははっとした。忘れられない言葉だった。私はどちらかといえば自分の事にとらわれていたから。

今年は春の訪れが例年より早い。夫はようやく、ひねもすストーブの前でTVを眺める“冬眠状態”から少しだが脱け出しつつあるようだ。趣味の家庭菜園は、とても前みたいには出来なくなったが「ハタケの草取りせなあかん、ジャガイモとトマト植えなあかんで」と話すのを聞くのは嬉しい。後遺症で自ら行動することが減って無気力になりがちだけに。

外の空気に触れ、土いじりすることが何よりのリハビリと信じ、来週早々に車でハタケまで行こう。夫を乗せて。

去年の夏はトマトの収穫ゼロという悲惨な結果に終わったが。

B 型事業所に通っています・・・早 8 年たちました

Y・N

夫は 8 年前くも膜下出血で倒れ、6 ヶ月半の入院生活後、退院した翌日から B 型事業所に通っています。車の運転ができず自分で行くこともできないので、車での送り迎えは大変ありがたいです。朝は 8 時に迎えの車に乗り、午前 9 時からの軽作業、途中午前午後の 1 回ずつと昼食時間の休憩をはさみ、午後は 4 時まで作業をし、後片付け、そうじの後 5 時すぎに帰宅します。作業内容はその日によって異なりますが、箱折りや袋詰め、箱の表に紙を貼る作業など座ってできる軽作業です。工賃は安いので、利用料を差し引くとマイナスのことも多いのですが、家にいるよりは体に良いかと思い、通い続けています。



お知らせ

会員の小木隆男様が、令和 2 年 2 月 3 日にお亡くなりになりました。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

奥様のお言葉です。

「応援して下さいました皆様に
感謝いたします」

夫のまわりには、常に友人知人がおり笑いに恵まれ幸せそうな姿が今も目に浮かびます。そんな夫が突然病に倒れたのは五十二歳の春でした。毎日がリハビリ、辛く悲しい時もありましたが、たくさんの方々に声をかけていただき家族全員力を合わせ、進むことが出来ました。それも、かわって下さった全ての皆様ののおかげと感謝しております。

ありがとうございます。

夫は「いつか元気になり、お世話になった皆様にお礼を言いたい」と、目標を胸に頑張ってきました。それゆえ別れを思うと、切なさ募ります。最期は、家族に見守られ「お願いします」という言葉を残し、ゆっくり瞳をとじました。色々心配なことはあると思いますが、夫が安心できるよう、前を向き歩んでいきたいと思っています。

たくさんさんの愛をありがとう

妻より



会員募集中！！



「福笑井」は、高次脳機能障害者および家族が、生き生きとした生活ができるよう、福利と親睦を図り、社会に対して働きかけ、高次脳機能障害について理解を広めることを目的として作られた会です。

皆様の入会、応援、ご協力をお待ちしています。

年会費 正会員家族：3600 円

賛助会員：2000 円